



平成19年8月2日

各 位

会社名 中央物産株式会社
代表者 代表取締役社長 児島 誠一郎
(JASDAQ・コード9852)
問合せ先 常務取締役 原 幸男
T E L 03-3796-5075(代表)

固定資産の譲渡、建物解体費用および特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成19年8月2日開催の取締役会において、下記のとおり固定資産の譲渡、建物解体費用および特別損失の計上について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 固定資産の譲渡

(1) 譲渡の理由

当社は保有資産の有効活用および資産効率の向上について検討を進めておりますが、今回その一環として、関西地区における物流拠点の統合を実現するために、中央物産大阪ロジスティクスセンターを閉鎖・解体し、土地を譲渡するものであります。

(2) 譲渡資産の内容

資産の内容および所在地	帳簿価額	譲渡価額	現況
大阪府堺市北区南花田町 275-3 土地 1328.91㎡	351百万円	301百万円	中央物産株式会社 大阪センター(閉鎖)

(3) 譲渡先の概要

商 号	株式会社 日本セレモニー
本店所在地	山口県下関市王喜本町6-4-50
代表者	神田 忠
資本金の額	3億300万円
主な事業内容	冠婚葬祭、ホテル、旅館、医療福祉介護サービス他
当社との関係	なし

(4) 譲渡の日程

平成19年 8月 2日 取締役会決議
平成19年 8月 6日(予定) 契約締結
平成19年10月 5日(予定) 物件引渡し

2. 建物解体費用および除却損の計上

(1) 建物解体費用および除却損の計上の理由

1. (1) と同様。

(2) 建物解体費用および除却損の概要

解体の時期(予定)	平成19年8月中旬～9月下旬
建物解体費用および除却損額	94百万円(概算額)
解体建物の内容	建築面積776.63㎡ 延床面積2,329.89㎡

3. 今後の見通し

上記1の固定資産の譲渡にかかる売却損50百万円につきましては、下期の特別損失として計上となりますが、当社の単体および連結業績への影響については、軽微であり、現在公表している業績予想の修正はございません。

また、上記2の解体費用および除却損概算額94百万円につきましては、上期の特別損失として計上となります。なお、当社の単体および連結、業績業績予想の修正につきましては、確定次第ご連絡いたします。

以上